

June 2004



M97(ふくろう星雲)

星がその生涯を終えるとき、燃え残りのガスを吹き飛ばし明るく輝きます。このとき普段は暗い星が突然明るくなるため、昔の人々は『新しい星が生まれた』と思って“新星”と名付けました。本当は星の最後の晴れ姿なのです。新星の残骸はたいてい丸くて中に濃淡の模様があって、一見惑星のように見えることから『惑星状星雲』といえます。

北斗七星でおなじみのおおぐま座にも新星の残骸があります。1万年ほど前に新星爆発した星の残骸で、丸いガスの中に暗い部分が二つある姿がフクロウの顔のように見えるところから“ふくろう星雲”と呼ばれ親しまれています。

綺羅星・星座図鑑

ペルセウス座 (Perseus)

ペルセウス座はプトレマイオスがつくった 48 星座の一つで、古代エチオピア王家にまつわる星座の一つです。

アルゴスの王アクシリオスには、誰からも愛されるダナエという美しい娘がいました。王はダナエに自分の跡継ぎが授かるよう神託に願ったものの、反応は冷たいものでした。

ある時夢の中で『おまえはダナエの子に殺されるであろう』というお告げを聞きました。

王は恐ろしくなってダナエを小さな窓が一つしかない部屋に閉じこめました。大神ゼウスはダナエに恋し、黄金の雨となってダナエに降

り注ぎました。やがてダナエは男の子（ペルセウス）を産んだのですが、恐ろしくなった王はダナエとその子を箱に詰め海に流してしまったのです。

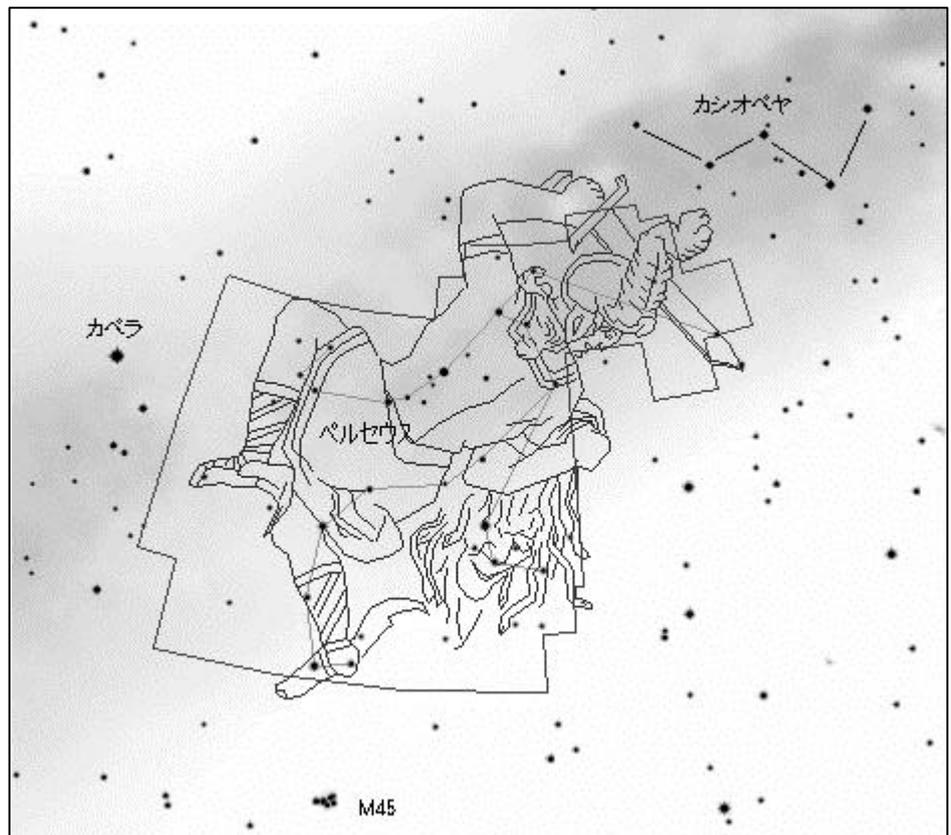
箱はやがてセリフォス島の海へ打ちあげられ、親切な漁師に助けられ育てられました。

ところがセリフォス島の王ポリュデクテュスはダナエに恋し、じゃまになったペルセウスを追い出そうとゴルゴンの首を取ってくるよう命令したのです。ゴルゴン三姉妹は髪の毛の一本一本が蛇で、その鋭い眼光を見たものは石になってしまうという怪物です。

ペルセウスは戦いの神アテナにいろいろ助言をもらい、グライアイの三姉妹から、風のように空を飛ぶことのできるサンダル、キビシスというどんなものでも入れられる袋、かぶると姿が見えなくなる帽子。そしてヘルメスからはどんなものでも切ることができる剣、アテナから青銅の楯を借りていざ出陣となったのです。

ゴルゴン姉妹のところに着くと、アテナに教えてもらったように楯に写ったメドゥーサの姿を見ながら剣を振り下ろし、首を切り落としました。すぐに首を袋に詰め込むとさっと空を飛び、姿が消える帽子をかぶって逃げ切りました。

そのころポリュデクテュス王は、ペルセウスが石になったものと思っていたところに戻



ってきたものだからビックリ。王の一味はペルセウスを迎え撃つものの、メドゥーサの首を突き出されるとたちまち石になってしまいました。王は国を捨てて逃げてしまったのですが、しばらくして近くの国で競技会が行われました。そこでペルセウスが投げた円盤が観客に当たって死んでしまったのです。この人物こそアクシリオスで、結局夢のお告げ通りになったのです。

ペルセウス座の真ん中あたりはまばらに集まる星が見えますが、このあたりは Mel20 という星団です。

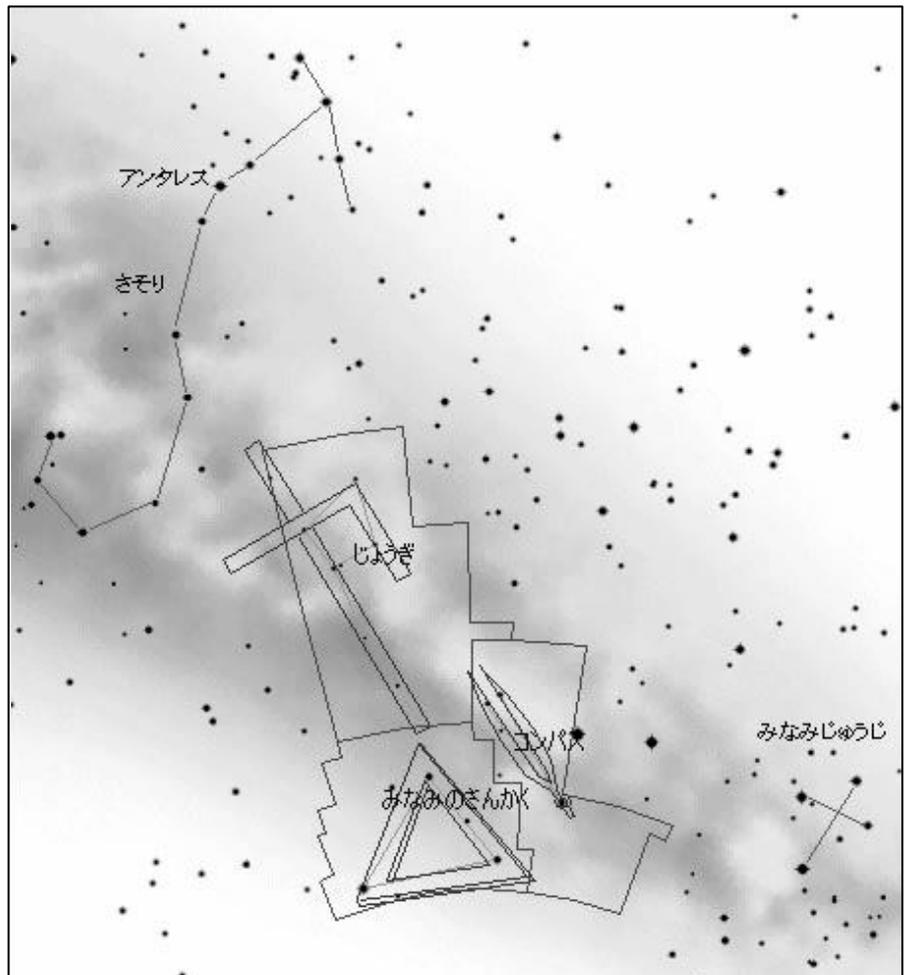
じょうぎ座(Norma)、コンパス座(Circinus)、みなみのさんかく座(Triangulum Australe)

南の三角座は 17 世紀にバイエルが、定規座とコンパス座は 18 世紀にラカイユが設定しました。いずれもさそり座とみなみじゅうじ座の間にある小星座ですが、意図したものが偶然か文房具が一カ所に集まっています。

じょうぎ座は、さそり座とおおかみ座の間に無理矢理入れたようで、4 個の 4~5 等星が一行に並んでいますが、ほかの星も同じように見えるてどれがじょうぎ座の星かわかりにくいです。星座は北海道では北の部分はずかに見えるだけで、鹿児島付近でようやく全体が見えてきます。

コンパス座はケンタウルス座アルファ星、ベータ星の東にあります。3~5 等星が細長い三角形を作っています。これ自体あまり目立つものではありませんが、隣にある 0 等星のケンタウルス座アルファ星を目印に探ると見つけやすいでしょう。

みなみのさんかく座はコンパス座の東に位置し、2~3 等星がほぼ正三角形を作っていて、やや明るい星から成り立つので 3 つ



の文房具の中では一番目立つでしょう。のでこれらえることが出来ない状態だったのです。

けんびきょう座 (Microscopium) と ぼうえんきょう座 (Telescopium)

ともにラカイユが 18 世紀に設定した星座です。ラカイユは当時ではまだ珍しかった科学観測機器を星座に加えており、ほかに時計や八分儀などがあります。

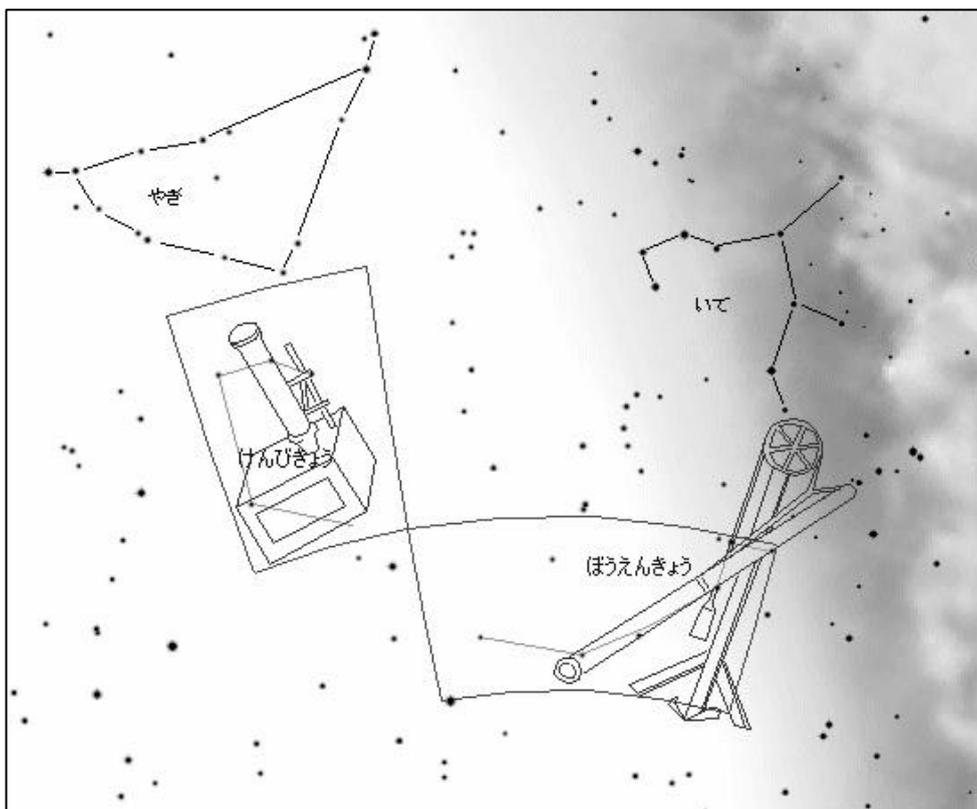
顕微鏡は 1590 年にヤンセンが発明、望遠鏡は 1609 年にハンス・リッペルスハイが発明したもので、発明者はともにオランダ人です。

けんびきょう座はやぎ座の南に位置する星座で、明るい星は 5 等星が 2 個あるほかは暗く、肉眼で見える星も 30 個ほどしかありません。地平線に低い上目立つような星もないためあまり注目されていないせいさです。

ラカイユが設定した望遠鏡は、もともと『天文用の筒』と呼んでいましたが、望遠鏡が発明されて 150 年ほどたち、機材も精巧かつ大型化し相次ぐ新発見によるこんで星座に加えたということです。

これとは別にマキシミアン・ヘルは双子座の近くに『ハーシェルの望遠鏡座』を作りましたが、人々から支持されず消滅してしまいました。

ぼうえんきょう座はいて座の南に位置し、4 等星以下の星からなっていますが、けんびきょう座より南に位置するため、北海道では地平線上にほとんど上がらず、九州北部でようやく全体が見えるというところさです。こちらもけんびきょう座同様目立つ天体がないためあまり注目されません。



「My Stars 通信」の天文図は StellaNavigator6(ASCII/AstroArts)を使用しています。

綺羅星列伝

皆様からお寄せいただいた星物語の一部をご紹介します。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前 : **NAOYOSTAR=kizuna=**

私は、友人の誕生日に星をプレゼントしました。今、私は高校3年生です。今年、大学受験を控えている受験生です。

私も、その友人も、それぞれが夢を持ち、目標のために頑張っています。でも、勉強がうまくいかなかったとき、たくさん悩んだときに、いつも笑顔でそばにいてくれて、いっしょに笑ってくれたり、一緒に泣いたりしてくれました。なんでもこの友人に相談すると、悩んでいたことがばかしくなるくらい前向きに考えてくれるんです。その解決法がすべていいものであったかは別として。私もその友人の相談にのったり、いろんな話をしているうちに「一緒にいると楽しいナァ・・・」って思うようになったんです。何の隠しごともない私たちの間には、信頼関係ができ、私は、何ごともがんばっているその友人を尊敬さえするよ

うになりました。私は、そんなその友人と「一生、友達でいたいなぁ・・・」って素直に思うことができるようになったんです。「高校時代に仲がよかった・・・」という過去の関係ではなく、大人になっても友達としてつきあっていきたいと思う私を、忘れないでほしいという願いで星をプレゼントしました。『大学に行って離れても、ずっと私は友達でいたいから・・・』っていう思いを込めて 本心に心の支えになってくれたその友人に感謝の気持ちも込めて

尚代、いっぱいいっぱいありがとう・・・。

そして、**私は一生親友だ**と思ってるからね!!
ずーっと!!

星の名前 : **yoshiaki&maki**

私たちの星は結婚式場からの贈り物です。

私たちの結婚は2003.4に決め2003.9に挙式を挙げました。当時私は20歳、夫は22歳でした。

結婚を決めたのはお互いが好きな事に加え、茨城と横浜の遠距離です。さらに1ヶ月後私が妊娠し、話は順調に進んでいる様に思えました。私がまだ20歳という事で多少の反対はありましたが・・・。

新居も決まり家電をそろえ、結婚目前という時お腹の中の赤ちゃんに異変が・・・流産でした。若すぎたのか原因はわかりませんでした。私も夫も手術後病院で大泣きでした。

その後は赤ちゃんの事は無かったかの様、心の奥の方にしまいこみ何事も順調にすすみ今日に至ります。

夫は、妊娠に合わせて急いで式をやった事すら

忘れ「あんな急ぐことなかったよな～」なんて言う様になり、結婚した事だって「こいつ（私）が無理に言うからさー俺、金なかったのに出してくるって（私が）言うからよー」なんて言うしまつです。夫は嫌な事とは向き合わない性格なのでしかたないんですが、私はお腹の痛みやつわりがあって赤ちゃんを本当に産みたかったので、思い出すたび涙が出てきます。

私はこの世に生まれてこなかったこの子に、星として成長してほしいと思い、いつまでも輝き続

けてほしいと思います。私たちが結婚のきっかけとなった赤ちゃん、星をプレゼントしてくれた式場すべてが運命だと思います。

私たちの星（赤ちゃん）大切にお預かりしてて下さいね。いつかお金をためて見に行きたいです。実そして次の子が出きるように又、その時は元気で健康でありますように・・・。

星の名前 : **MK**

やって生きていたかわからなかったある日、テレビを何気なく見ていた時でした。

2002.7.7 私達は一年に一度でもいい必ず会えると信じて七夕のこの日に納骨しましたあちらの世界に逝ってしまった息子の名前が、消える事

が哀しく、又、夜空を見る事と夕焼けを見る事が好きになった私が大変嬉しくなったシステム

星の名前 : **Aya**

その時から、娘2人、やがて嫁いで私1人になって、そうして私も死んで、この戸籍も消滅するのだなと思っていました。でも、星をプレゼントされて、このほしに、ずっと3人の今のままの、思いがあり続けると思ったことは、自分の人生にとってとても意味のあるものになりました。

これから、どんな姿で、どんな3人が人生を生きるか、はっきりとはわかりませんが、今流れて人生を、3人ともがこれから歩んでゆけるようにと願っています。

こちら情報室

天文情報

流星・彗星

今年のペルセウス座流星群は8月12日が極大と予想されています。1時間あたり50個前後の出現が見込まれますが、今年は月明かりがなく絶好の観測条件です。この通信が届くころ西の空にニート彗星が見えているでしょう。

日食・月食

6月8日14時過ぎから金星の太陽面通過があります。金星は太陽に30分の1と小さいですが、一応金環日食です。黒いフィルムや日食めがねなどを使って太陽を見ると、太陽の左側にホクロのような黒い点が見えるでしょう。

惑星

金星：今年の後半は明け方の東天に見えます。6月8日は内合（地球と太陽の間に入る）ですが、このとき太陽面を横切る『金星の太陽面通過』が全国で見られます。130年ぶりの珍しい現象ですから、是非見てください。14時過ぎから日没まで見られます。

火星：太陽に近くしばらく見られません。

木星：8月まで宵の西空に見えています。9月22日に合（太陽の向こう側）になり、以後明け方の空になります。

土星：7月9日合になり見えなくなりますが、9月以降明け方の東空に見えます。

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mail どちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

登録番号6552番までの方は18号をもって「MyStars通信」の郵送を終了します。なおすでに継続の連絡を頂いている方には引き続き郵送いたします。今後も郵送を希望される方は連絡下さい。なお、通信は初山別村のホームページでも見ることができます。

[編集後記]

2003年10月末現在の登録者数は6795名です。

この夏は全体として天候が今ひとつといったところで、雨の多い7月下旬に好天だったかと思うと、晴天の多い8月後半から9月にかけて曇りがちでした。7月26日には、1989年7月の開館以来14年で入館者20万人達成です。

今年一番の話題になったことと言えば8月27日の火星の大接近ですね。マスコミや一部の天文台が6万年ぶりの大接近と大々的に取り上げたため、大勢の人たちに注目され、全国各地で火星の観望会が行われにぎわっていたようです。施設によっては1000人以上の人が押し掛け、大混乱だったようです。来年は火星食、肉眼で見えそうな彗星、皆既月食、金星の太陽面通過、部分日食など注目の天文現象があります。

編集・発行 初山別村教育委員会社会教育係 〒078-4421 北海道苫前郡初山別村字初山別 155-1

初山別村ホームページ URL=<http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/>

E-Mail 教育委員会 shkyoiku@saturn.plala.or.jp しょさんべつ天文台 shosanbe@hokkai.or.jp